

つながりの中で

会場 関内ホール 大ホール

10:30～12:00

あたりまえに生きていく

たんの ともふみ
おれんじドア 代表 **丹野 智文 氏**



毎日、寝て起きること。食事をする。働くこと。遊ぶこと。そんな「あたりまえ」の日常は、「認知症」という診断によって、何がどのように変わるのでしょうか。そして、変わらないものとは何でしょうか。

どんな人も、役割や生きがいを持って、自分らしく笑顔で暮らすことのできるまち。そんなまちをつくるためには、どのようなつながりが必要でしょうか。

若年性認知症当事者の立場から、認知症とともに生きるということや、人と人とのつながりの中で生きていく大切さについてご講演をいただきます。

後半はコーディネーターを交え、「その人らしい暮らしや思いに寄り添う」ということ、「誰もが安心して認知症になれるまち」とは何かについて考えます。

【講師プロフィール】

2013年アルツハイマー型認知症と診断され、営業職から事務職に異動。現在もネットヨタ仙台に在職しながら講演など社会的理解を広める活動をしている。9年前、認知症当事者のための物忘れ総合相談窓口「おれんじドア」を開設。著書に「丹野智文 笑顔で生きる」「認知症の私から見える社会」ほか。



❖ コーディネーター

宇都宮短期大学 人間福祉学科 教授 **宮脇 文恵 氏**

【プロフィール】

東京学芸大学教育学部卒業、日本社会事業大学大学院博士前期課程修了。現在、宇都宮短期大学人間福祉学科教授。専門は福祉教育論、地域福祉論。